



本事業は、SDG s の「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 5 月 10 日 (土)
愛知県政策企画局国際課
渉外・交流グループ
担当 上窪、福森
内線 2256、2446
ダイヤルイン 052-954-6181

知事の中東渡航中の行事結果について

2025 年 5 月 9 日 (金) 午前、知事は、トルコ共和国・アンカラにおいて、アタテュルク廟^{びょう}を視察し、午後には、ムスタファ・フルキ・ジェヴィズオール・トルコ・日本友好議員連盟会長等、アブドゥッラー・ギュレル公正発展党院内会合代表、アイシェ・ベリス・エキンジ外務副大臣、ウムット・リュトフィ・オズテュルク前在名古屋トルコ総領事と面談しました。

1 アタテュルク廟^{びょう}視察

(1) 日時

2025 年 5 月 9 日 (金) 午前 11 時 30 分から正午まで

(日本時間 5 月 9 日 (金) 午後 5 時 30 分から午後 6 時まで)

(2) 場所

アタテュルク廟^{びょう} (アンカラ)

(3) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(4) 内容

大村知事は、毎年多くの国民及び各国要人が訪れている、トルコ共和国初代大統領ムスタファ・ケマル・アタテュルク^{れいびょう}の霊廟^{びょう}であるアタテュルク廟^{びょう}を視察し、現在、訪問中のトルコ共和国に敬意を表しました。



記念撮影

2 ジェヴィズオール・トルコ・日本友好議員連盟会長等との面談

(1) 日時

2025 年 5 月 9 日（金）午後 3 時から午後 3 時 40 分まで

（日本時間 5 月 9 日（金）午後 9 時から午後 9 時 40 分まで）

(2) 場所

トルコ大国民議会（アンカラ）

(3) 応対者

（トルコ・日本友好議員連盟）

ムスタファ・フルキ・ジェヴィズオール会長

ニルギュン・オク副会長

コヌル・アルプ・コチャック執行役員

アイユジェ・テュルケシュ・タシュ執行役員

ラティフ・セルヴィ議員

ジャーレ・ヌル・スュッル議員

（公正発展党議員）

アブドゥルラヒム・ドウシャック議員

シャーミル・アイルム議員

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

かつまたたかひこ
勝亦孝彦駐トルコ日本国大使

(5) 内容

大村知事は、トルコ大国民議会において、ジェヴィズオール・トルコ・日本友好議員連盟会長と面談しました。面談には、その他、トルコ・日本友好議員連盟のメンバー5 名と、公正発展党議員 2 名が同席しました。

まず、ジェヴィズオール会長から、「昨年 2024 年は日トルコ外交関係樹立 100 周年の記念すべき年であった。秋篠宮御夫妻がトルコにお越しになり、クルトゥルムシュ大国民議会議長が日本を訪問した。その際に自分も議長に同行した。大村知事はイスタンブールで海事博物館を視察したと伺っているが、今年は、エルトゥールル号事件が発生した 1890 年から 135 年目を迎える。愛知県は製造業が盛んであり、約 20 社の愛知県企業がトルコで事業活動を行っている」と承知している。今後、愛知県の企業がトルコで活発に投資することを期待しており、日本との経済関係が一層強化されることを願っている。大村知事の今回の訪問が二国間関係の発展につながることを期待する。」との発言がありました。その後、同席した出席議員から、自己紹介と挨拶が行われました。

これに対して、大村知事から、「ジェヴィズオール会長は今年 2 月にクルトゥルムシュ大国民議会議長とともに愛知県を来訪されたと伺っている。その際は日程が合わずお会いできなかったが、こうしてアンカラでお会いできたことを嬉しく思う。愛知県には多くのトルコ人の方々が在住しており、トルコ料理も大変人気である。そして今回、在名古屋トルコ総領事館を開設されたお礼にトルコを訪問した。2019

年6月にエルドアン大統領が来県された際、約1,000人のトルコ人が集う会において総領事館開設を宣言され、そのわずか5か月後に開設が実現された。総領事館開設から5年半が経過するが、愛知県に在住するトルコ人は大幅に増加している。また、トルコに進出しているトヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ（TMMT）は、31年前から事業を展開しており、生産能力と販売台数を増加させている。今後、経済関係を強化し、日本とトルコの関係が一層強まることを願っている。トルコ共和国建国100周年に当たる2023年には、総領事館がレセプションを開催し、愛知県に在住するトルコ人の方々とともに建国100周年をお祝いした。今後も愛知県とトルコの交流を深め、ひいては、日本とトルコの関係の強化につながることを願っている。」と話しました。



記念撮影①



面談の様子



記念品交換



記念撮影②

（右から1番目がドウシャック議員、
2番目がセルヴィ議員、3番目が
スュッル議員、4番目がオク副会長、
6番目がジェヴィズオール会長、
7番目がタシュ執行役員、
8番目が勝亦大使、9番目が
コチャック執行役員、
10番目がアイルム議員）

3 ギュレル公正発展党院内会合代表との面談

(1) 日時

2025 年 5 月 9 日（金）午後 3 時 50 分から午後 4 時 10 分まで

（日本時間 5 月 9 日（金）午後 9 時 50 分から午後 10 時 10 分まで）

(2) 場所

トルコ大国民議会（アンカラ）

(3) 応対者

アブドゥッラー・ギュレル公正発展党院内会合代表

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

かつまたたかひこ
勝亦孝彦駐トルコ日本国大使

(5) 内容

大村知事は、トルコ大国民議会において、ジャヴィズオール・トルコ・日本友好議員連盟会長との面談に引き続き、ギュレル公正発展党院内会合代表と面談しました。

最初に、ギュレル代表から、「トルコと日本は大変なときにも互いに協力し合ってきた。2 年前にトルコ南東部で大地震が発生した際には、日本から、救助チームや技術専門家のチームを派遣してくれた。この場を借りて改めて感謝する。トルコと日本の友好関係を世界平和に貢献できるよう、両国の関係を一層発展させていきたい。」と話しました。

続いて、大村知事から、アイシントルコ及びトヨタ・モーター・マニファクチャリング・トルキエ（TMMT）を訪問したことに触れつつ、「愛知県企業がトルコにおいて活発に活動し、トルコ経済に貢献していることを嬉しく思う。2019 年 6 月にエルドアン大統領が来県された際、トルコ人が集う会において総領事館開設を宣言され、そのわずか 5 か月後に開設が実現された。総領事館開設から 5 年半が経過するが、名古屋に在住するトルコ人は大幅に増加している。また、愛知県ではトルコ料理が大変人気である。今後、愛知県とトルコの関係を一層強めていきたい。ギュレル代表はエルドアン大統領にお近いと伺っており、ぜひ、総領事館設置に対する感謝の意を大統領にお伝えいただきたい。」と発言しました。これに対して、ギュレル代表から、「承知した。大統領にも伝えたい。」との発言がありました。



面談の様子



記念品交換



記念撮影①



記念撮影②

(右から 2 番目がアイルム議員、
3 番目がドウシャック議員、5 番目が
ギュレル公正発展党院内会合代表、
6 番目がジェヴィズオール会長、
7 番目がオク副会長、
8 番目が勝亦大使)

4 エキンジ外務副大臣との面談

(1) 日時

2025 年 5 月 9 日 (金) 午後 4 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

(日本時間 5 月 9 日 (金) 午後 10 時 30 分から午後 11 時 15 分まで)

(2) 場所

トルコ外務省 (アンカラ)

(3) 応対者

アイシェ・ベリス・エキンジ外務副大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

かつまたたかひこ
勝亦孝彦駐トルコ日本国大使

(5) 内容

大村知事は、トルコ外務省において、エキンジ外務副大臣と面談しました。

まず、エキンジ外務副大臣から、「今回の大村知事の訪問を大いに歓迎する。今日、日本とトルコの二国間関係は非常に重要である。今日は将来にわたりどのような分野で更なる協力ができるか建設的な話し合いをしたい。」と発言がありました。これに対して、大村知事から、「トルコには、昨日訪問したトヨタ・モーター・マニユファクチャリング・トルキエ (TMMT) を始め、愛知県の 21 社が、大きな投資を行い、活発にビジネスを行っている。今後も多くの投資が行われるものと聞いており、日本とトルコの友好的な経済関係を更に発展させたいと考えている。外務副大臣を始め外務省からの支援をお願いしたい。」と応えました。

さらに、エキンジ外務副大臣から、「両国の経済関係は補完関係にあり、現在、エネルギー制約や米国による関税措置等によりグローバルには困難な環境にあるが、両国が連携してこうした状況をチャンスに変えていくことが重要であり、日本でも

屈指の産業集積地である愛知県と更に経済関係を深めたい。日本企業の投資にはまだ拡大の余地があると考えており、愛知県の企業には特に付加価値の高い分野で投資を行ってほしい。また、愛知県では、エネルギー・気候変動の分野でも多くのプロジェクトが行われていると聞いており、こうしたカーボンニュートラルやエネルギー分野でも協力を深めたい。」と発言があり、大村知事から「カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの普及を進めることは世界共通の課題であり、こうした分野でも協力を進めたい。今後も、こうした分野に留まらず、様々な分野で良好な経済関係を深めることや人の往来を更に活発にすることにも尽力していきたい。」と発言しました。最後に、大村知事から、「エルドアン大統領が名古屋への総領事館の設置を表明されて、わずか5か月で実現されたことを非常に嬉しく思っており、大統領及び外務省の皆様の御尽力に改めて敬意を表するとともに、御礼を申し上げたい。このおかげで、開設以降、愛知県に在住するトルコ人の数は、大きく増加しており、在住者の方々が、地域経済にも貢献されている。今後も、良好な二国間関係の更なる発展に向けたエキンジ外務副大臣や外務省の支援をお願いしたい。」と述べ、面談を締めくくりました。



面談の様子



記念撮影



記念品交換

5 オズテュルク前在名古屋トルコ総領事との面談

(1) 日時

2025 年 5 月 9 日（金）午後 6 時 40 分から午後 7 時まで

（日本時間 5 月 10 日（土）午前 0 時 40 分から午前 1 時まで）

(2) 場所

スー バリック チャンカヤ

Sur Balik Cankaya（アンカラ）

(3) 応対者

ウムット・リュトフィ・オズテュルク前在名古屋トルコ総領事

(4) 愛知県側出席者

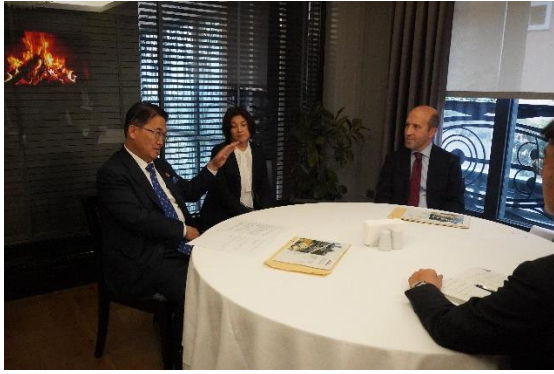
大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、スー バリック チャンカヤにおいて、オズテュルク前在名古屋総領事と面談しました。

まず、オズテュルク前総領事から、「日本の友人である大村知事には友好関係を長らく築いていただき、こうしてアンカラで再会できたことを嬉しく思う。」と発言がありました。これに対して、大村知事から、「在名古屋トルコ総領事としての 2 年半の在任期間中、何度もお食事をご一緒したり、トルコの魅力を伝える写真展にお招きいただいたことに感謝する。また、ジブリパーク内覧会にはご家族でいらしていただいたり、奥様の墨絵の個展にお招きいただいたことは良い思い出である。」と発言しました。

続いて、オズテュルク前総領事から、「2023 年にトルコ南東部で発生した地震に対して支援いただきことに感謝する。トルコ外務省では、公共外交・戦略対話を担当する部署で勤務しているが、日本への関心は失っていない。日トルコ外交関係樹立 100 周年に当たる 2024 年には、妻とともにアンカラで墨絵の展覧会を開催した。その際に愛知県で開催した内覧会で知り合った日本人ピアニストにお越しいいただき、演奏も行っていただいた。今後もどこにいても、愛知県とトルコの友好関係発展のために貢献したい。」と述べました。これに対し、大村知事から、「オズテュルク前総領事が総領事として着任された際、愛知県に在住するトルコ人の数は約 1,400 人であったが、現在は約 1,800 人と大幅に増加している。また、愛知県ではトルコ料理が大変人気がある。2027 年 5 月にはアジア開発銀行（ADB）の総会が愛知県で開催されることとなった。トルコは最近 ADB に加盟したと承知している。総会には、ぜひトルコからも参加いただきたい。」と述べました。これに対して、オズテュルク前総領事から、「愛知県が国際的なイベントの舞台になることを嬉しく思う。トルコからも必ず参加すると思う。トルコと日本の関係を一層前進させていきたい。」と発言して面談を締めくくりました。



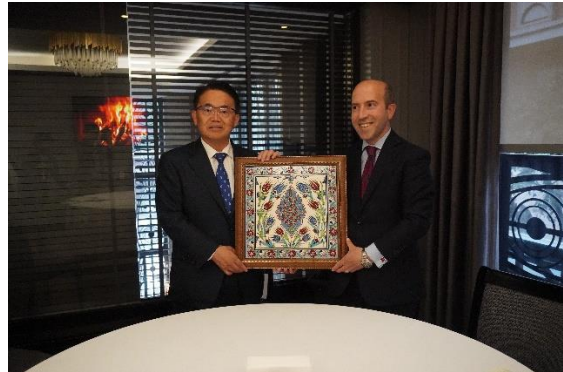
面談の様子①



面談の様子②



記念品交換①



記念品交換②